toeic®

2025 Report on Test Takers Worldwide

Listening & Reading Test

目次

TOEIC® バックグラウンドアンケート 2

2025 年 TOEIC® L&R 受験者の特徴 3

TOEIC® L&R の国・地域別平均スコア 4

TOEIC® L&R リスニングとリーディングのスコアの関係 6

カテゴリー別集計 6

- 年齢 12
- 性別 13
- 学歴 14
- 専攻科目 15
- 就業状況 16
- 業種 17
- 職種 19
- 英語学習期間 20
- 英語学習の際に最も重要視する言語技能 21
- 日常生活での英語使用率 22
- 最も使用する言語技能 23
- 英語でのコミュニケーションに苦労する頻度 24
- 英語圏滞在経験 25
- 英語圏滞在目的 26
- TOEIC® L&R の受験経験 27
- TOEIC® L&R の受験目的 28

資料 A　TOEIC® バックグラウンドアンケート 29

資料 B　各設問の回答率 31

資料 C　地域別リスニングおよびリーディングスコアの相関値 32

TOEIC® バックグラウンドアンケート

TOEIC® バックグラウンドアンケートは、TOEIC® Listening & Reading Test（以下、TOEIC® L&R）受験者の学歴、職歴、英語の学習と使用、TOEIC® L&R 受験経験についての情報を収集する自己記入式調査です。スコア分析者は、アンケートへの回答から受験者のバックグラウンドや、TOEIC® L&R のスコアと英語能力の向上に影響する要因を確認することができます。受験者は TOEIC® L&R を受ける前に、TOEIC® バックグラウンドアンケートに回答します。

TOEIC® バックグラウンドアンケートの設問は、本資料 29 ページ「資料 A」 を参照してください。

本報告書は、2025 年に世界において全受験者が回答した TOEIC® L&R のバックグラウンドアンケート結果に基づいています。

アンケート回答者はアジア地域の割合が高く、他の地域の結果を正確に反映していない場合があります。また、質問によって回答率に幅がありますので、本データに基づいた推測を行う際にはご注意ください（本資料 31 ページ「資料 B」）。

報告書本文に記載されるパーセンテージ（%）は小数点以下を調整し整数値で表示しているため、合計値が 100%を超える場合があります。また、表やグラフ等で紹介する数値は、サンプル数が 500 以上のものに限定しています。

2025 年 TOEIC® L&R 受験者の特徴

バックグラウンドアンケートは、2025 年に実施された TOEIC® L&R 公開テストおよび IP テスト（Institutional Program：団体特別受験制度）の全受験者を対象に実施しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる受験者の特徴です。前述の通り、各質問項目に回答した受験者総数は異なります。

- 年齢層で最も多いのは 21～25 歳（43%）
- 性別は男性と女性が同じ割合（50%）
- 学歴（最終学歴または受験時在学）は 56%が大学卒または大学在学中
- 専攻で最も多いのは「工学」で 23%、「教養学」が 19%、「経営学」が 16%
- 58%が「全日制学生」、30%が「フルタイム勤務者」
- 就業者の業種は 7%が「電機」、12%が「その他サービス」
- 職種は 23%が「科学／技術職」、16%が「事務職」、14%が「マーケティング／販売」
- 75%が 6 年超の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重要視する技能としては、22%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択、同じく 22%が「リスニング&スピーキング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、40%が「1～10%」と回答
- 最も使用する英語技能としては、32%が「リーディング」、21%が「リスニング」を選択
- 37%は英語でのやりとりに「時々」苦労すると回答
- 6 ヵ月以上の英語圏滞在経験者はわずか 10%
- 英語圏滞在目的としては、29%が「旅行のため」、28%が「英語学習プログラム参加のため」と回答
- TOEIC® L&R の受験経験については、33%が「3 回以上」と回答
- 受験目的については、28%が「就職活動のため」、26%が「卒業に必要なため」、24%が「英語学習のため」と回答

TOEIC® L&R の国・地域別平均スコア

以下の図 1 は、地域別の TOEIC® L&R スコアの平均と標準偏差（SD）を示しています。次ページの表 1 は、受験者の国・地域別の平均スコアを集計したものです。ただし、受験者が TOEIC® L&R を受験した国・地域は、受験者の母国・地域と必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、TOEIC® L&R の年間受験者総数が 500 名以上の国・地域のみを掲載しています。

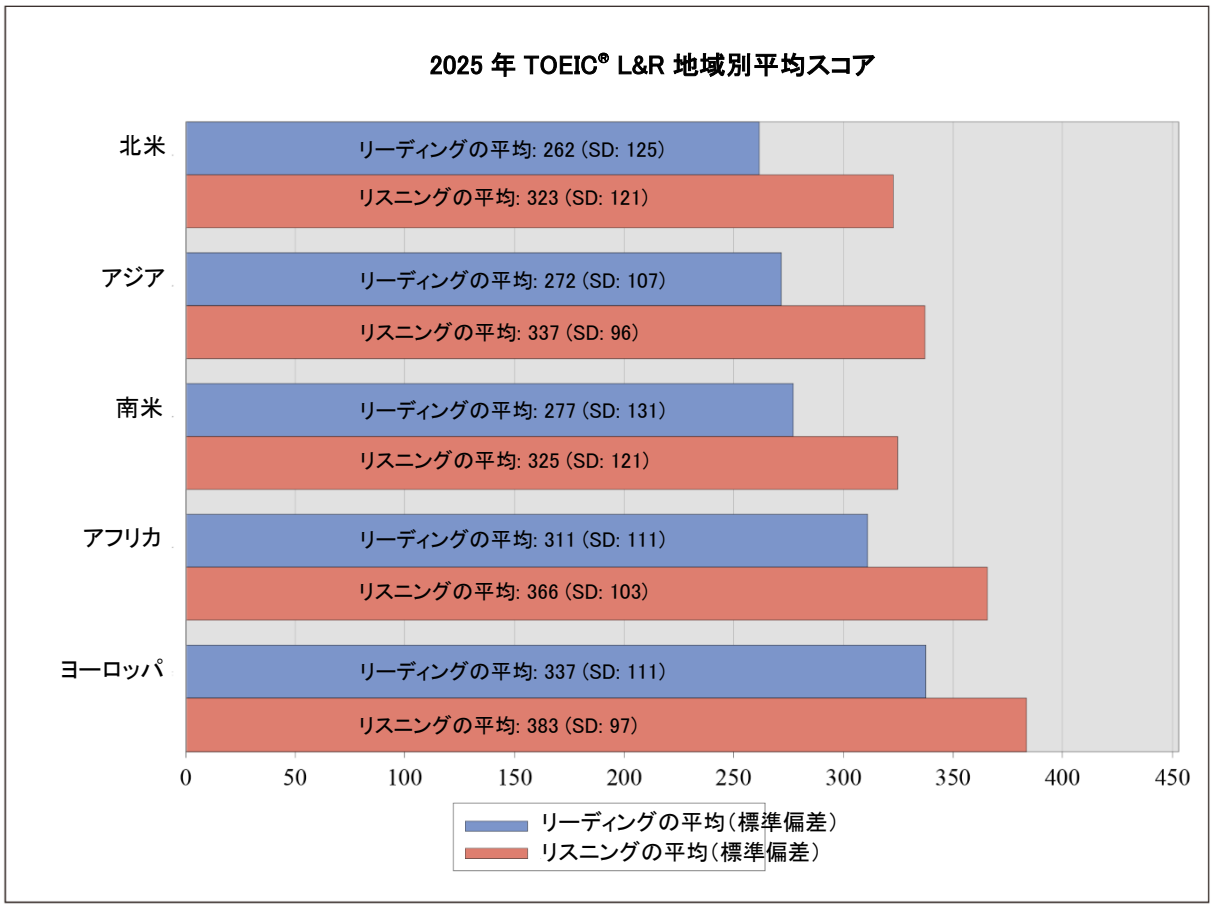

図 1：TOEIC® L&R 地域別平均スコア

***注**：各チャートには受験者が 500 名以上の国・地域のみ掲載されています。メキシコは北米に含みます。

表 1：国・地域別平均スコア

国・地域	リスニング		リーディング		トータル	
	平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
アルバニア	280	(89)	229	(87)	509	(171)
アルジェリア	384	(92)	329	(105)	713	(191)
ベルギー	404	(89)	376	(97)	780	(180)
ベナン	327	(101)	284	(105)	611	(197)
ブラジル	315	(123)	266	(130)	581	(247)
カメルーン	334	(100)	281	(107)	614	(200)
チリ	349	(114)	302	(129)	651	(238)
中国	301	(98)	281	(101)	582	(190)
コンゴ共和国	279	(110)	228	(104)	507	(205)
コスタリカ	410	(85)	353	(98)	763	(175)
コートジボワール	314	(102)	263	(106)	577	(201)
エルサルバドル	341	(101)	269	(110)	609	(204)
フランス	383	(97)	336	(111)	719	(203)
ガボン	303	(110)	255	(109)	559	(211)
ドイツ	453	(62)	398	(90)	851	(145)
香港	310	(109)	237	(119)	547	(221)
インド	420	(71)	348	(96)	768	(159)
インドネシア	269	(111)	191	(110)	461	(213)
イタリア	408	(88)	368	(103)	776	(185)
日本	313	(90)	251	(100)	564	(181)
韓国	377	(82)	305	(103)	682	(177)
レバノン	448	(64)	402	(83)	850	(142)
マダガスカル	372	(100)	325	(109)	697	(203)
マレーシア	391	(87)	327	(110)	718	(190)
メキシコ	307	(127)	252	(128)	559	(250)
モンゴル	302	(97)	217	(106)	519	(195)
モロッコ	389	(92)	328	(106)	717	(192)
ミャンマー	333	(98)	263	(112)	596	(203)
パナマ	317	(97)	226	(99)	543	(190)
ペルー	372	(102)	338	(111)	711	(206)
フィリピン	396	(74)	326	(91)	722	(157)
ポーランド	402	(99)	349	(119)	750	(212)
レユニオン	343	(114)	292	(126)	635	(236)
セネガル	317	(111)	266	(110)	583	(215)
スペイン	392	(85)	359	(96)	751	(174)
台湾	316	(105)	265	(111)	581	(208)
タイ	307	(113)	224	(110)	531	(216)
チュニジア	409	(86)	358	(98)	766	(178)
ベトナム	320	(91)	256	(100)	576	(184)

*SD=標準偏差

TOEIC® L&R リスニングとリーディングのスコアの関係

TOEIC® L&R のリスニングセクションとリーディングセクションのスコア間の相関値は約 0.85 でした（本資料 32 ページ「資料 C 」に、地域別のリスニングとリーディングの相関値を掲載）。これは過去の研究結果と『2024 Report on Test Takers Worldwide』で示された知見と一致しています。

それぞれのテストがビジネスコミュニケーションにおける英語の習熟度を測定し、同時に受験者がどちらも均等に学習していると仮定すると、この相関値は双方の関連性が高いことを示しています。

カテゴリー別集計

表 2 は、各受験者層の人数割合（%）と TOEIC® L&R およびトータルの平均スコアを示しています。

各カテゴリーの受験者の詳細な情報は本報告書の後半に示されています。本報告書で使用されるカテゴリーは、バックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 2： カテゴリー別平均スコア

		受験者割合（%）	リスニング		リーディング		トータル	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
年齢	26～30 歳	14.6	368	(88)	304	(103)	673	(184)
	31～35 歳	7.1	361	(92)	302	(105)	663	(189)
	36～40 歳	4.3	345	(96)	288	(106)	633	(195)
	21～25 歳	43.0	347	(94)	281	(106)	628	(192)
	46 歳以上	5.2	337	(96)	286	(104)	624	(192)
	41～45 歳	3.2	337	(96)	281	(105)	618	(193)
	20 歳以下	22.6	300	(100)	231	(107)	531	(199)
性別	女性	50.1	348	(95)	279	(109)	627	(197)
	男性	49.9	331	(98)	272	(109)	603	(200)
学歴	大学院	12.0	367	(88)	320	(99)	687	(179)
	大学	55.9	351	(89)	290	(101)	641	(182)
	高校	8.5	313	(102)	248	(112)	561	(206)
	中学校	0.8	290	(110)	210	(113)	500	(215)
	短大	13.9	280	(90)	210	(91)	490	(171)
	語学学校	1.0	287	(101)	199	(102)	486	(195)
	小学校	0.4	277	(113)	204	(118)	481	(224)
	専門学校	3.7	275	(105)	203	(101)	477	(199)
	高専	3.7	273	(96)	190	(95)	463	(182)

*SD=標準偏差

表 2： カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者割合（%）	リスニング		リーディング		トータル	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
専攻科目	社会学	9.9	349	(92)	290	(106)	638	(191)
	医療関連	7.4	347	(93)	284	(107)	631	(192)
	教養学	19.2	348	(92)	280	(107)	627	(191)
	経営学	16.3	340	(97)	282	(109)	622	(199)
	科学	13.2	333	(91)	280	(102)	613	(186)
	工学	23.3	321	(95)	261	(105)	582	(192)
	その他	10.7	323	(102)	256	(111)	578	(204)
就業状況	非就業者	6.9	367	(88)	299	(104)	666	(184)
	フルタイム勤務者	30.0	336	(97)	280	(106)	616	(195)
	パートタイム勤務者	5.4	338	(107)	276	(118)	614	(219)
	全日制学生	57.7	325	(96)	260	(107)	585	(195)
業種	国際団体	0.2	394	(94)	343	(113)	738	(200)
	教育機関（高校以下）	2.7	373	(93)	323	(106)	696	(192)
	公共事業（電気／水）	1.6	370	(85)	320	(96)	690	(173)
	教育機関（大学以上）	2.5	368	(101)	317	(115)	685	(209)
	マスコミ	1.4	370	(87)	314	(102)	684	(182)
	金融	6.0	362	(89)	314	(101)	675	(182)
	保険	1.1	361	(83)	313	(94)	675	(169)
	医薬品	2.2	360	(84)	308	(95)	668	(173)
	その他	6.8	358	(97)	301	(109)	660	(199)
	通信	2.5	353	(85)	300	(98)	653	(175)
	商社	3.2	354	(89)	296	(101)	650	(183)
	不動産	0.9	348	(90)	289	(100)	637	(182)
	その他サービス	11.9	346	(91)	288	(102)	634	(185)
	医療	4.2	345	(90)	285	(103)	630	(186)
	政府／役所／公益団体	5.8	334	(99)	281	(109)	615	(201)
	運輸	3.4	341	(90)	273	(98)	614	(180)

*SD=標準偏差

表 2： カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者割合（%）	リスニング		リーディング		トータル	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
業種（続き）	アパレル	0.5	343	(94)	270	(105)	613	(191)
	小売／卸し	2.4	338	(95)	274	(105)	612	(193)
	旅行	3.2	342	(99)	268	(107)	610	(197)
	軍隊／自衛隊	3.1	326	(109)	270	(118)	596	(221)
	建設	2.8	328	(99)	267	(108)	595	(200)
	食品	2.2	328	(101)	265	(112)	594	(206)
	ガラス	0.3	323	(95)	270	(104)	593	(192)
	化学	3.5	320	(93)	272	(99)	592	(184)
	石油	0.7	319	(107)	270	(114)	589	(215)
	その他製造	3.3	320	(103)	261	(111)	581	(207)
	農業	0.9	314	(108)	255	(117)	569	(218)
	金属	1.6	308	(97)	251	(104)	559	(194)
	機械	6.1	307	(97)	249	(104)	556	(194)
	電機	7.1	299	(99)	253	(104)	552	(195)
	自動車	4.9	300	(96)	237	(105)	537	(194)
	繊維	1.2	287	(103)	229	(108)	516	(205)
職種	教師／講師	5.8	367	(100)	316	(113)	684	(206)
	専門職	9.5	352	(91)	304	(102)	657	(185)
	事務職	16.1	355	(92)	296	(104)	651	(189)
	管理職	6.9	341	(105)	293	(115)	634	(213)
	サービス業	7.6	349	(97)	284	(107)	632	(195)
	マーケティング／販売	14.1	345	(89)	285	(100)	630	(182)
	科学／技術職	22.8	326	(92)	272	(102)	598	(187)
	その他	10.1	321	(110)	263	(118)	584	(220)
	技術者	7.1	306	(102)	253	(106)	559	(199)
英語学習期間	10 年超	45.2	372	(88)	314	(102)	686	(182)
	6 年超～10 年	29.4	319	(92)	257	(101)	576	(185)
	4 年超～6 年	12.9	300	(93)	233	(99)	533	(183)
	4 年以下	12.6	285	(94)	216	(98)	501	(183)

*SD=標準偏差

表 2： カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者割合（%）	リスニング		リーディング		トータル	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
最も重要視する言語技能	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	21.8	367	(96)	309	(111)	675	(199)
	リーディング&ライティング	5.1	338	(100)	284	(112)	622	(205)
	スピーキング	16.5	340	(93)	273	(105)	613	(191)
	リスニング&スピーキング	22.3	338	(94)	270	(106)	608	(192)
	ライティング	1.8	315	(107)	258	(117)	574	(216)
	リーディング	18.2	310	(92)	259	(101)	568	(185)
	リスニング	14.3	317	(94)	250	(103)	567	(190)
日常生活での英語使用率	51～100%	5.2	398	(86)	338	(108)	736	(187)
	21～50%	14.3	370	(91)	305	(108)	675	(192)
	11～20%	22.1	349	(94)	285	(107)	634	(193)
	1～10%	40.4	324	(94)	263	(105)	588	(191)
	なし	18.0	302	(93)	243	(101)	545	(186)
最も使用する英語技能	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	10.0	379	(92)	317	(111)	695	(196)
	リーディング&ライティング	6.3	361	(94)	305	(108)	666	(195)
	リスニング&スピーキング	15.0	343	(95)	271	(107)	614	(194)
	リーディング	31.7	328	(93)	278	(104)	606	(189)
	リスニング	20.8	327	(98)	260	(108)	587	(198)
	ライティング	2.6	318	(103)	260	(110)	578	(205)
	スピーキング	13.5	321	(97)	250	(106)	572	(195)
英語でのコミュニケーションに苦労する頻度	あまりない	21.8	345	(98)	287	(110)	631	(200)
	時々	36.6	347	(92)	284	(105)	631	(189)
	ほとんどない	14.8	327	(105)	270	(117)	597	(216)
	頻繁にある	17.7	331	(90)	266	(101)	597	(182)
	ほぼ常時	9.0	296	(98)	231	(104)	526	(194)

*SD=標準偏差

表 2： カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者割合（%）	リスニング		リーディング		トータル	
			平均	(SD)*	平均	(SD)*	平均	(SD)*
英語圏滞在期間	2 年超	3.6	418	(81)	359	(103)	777	(176)
	1 年超～2 年	2.3	390	(93)	327	(111)	717	(198)
	6 ヵ月～12 ヵ月	4.2	384	(89)	317	(107)	701	(190)
	6 ヵ月未満	20.0	352	(87)	287	(102)	639	(181)
	なし	69.9	323	(96)	262	(107)	585	(195)
英語圏滞在目的	その他	7.8	387	(93)	321	(112)	708	(199)
	進学のため	21.5	382	(97)	320	(116)	701	(207)
	仕事のため	14.1	369	(90)	313	(105)	682	(187)
	英語学習プログラム参加のため	27.5	366	(83)	297	(100)	663	(175)
	旅行のため	29.1	351	(88)	288	(102)	639	(182)
TOEIC® L&R 受験回数	3 回以上	32.6	361	(83)	297	(97)	658	(171)
	2 回	12.5	337	(90)	273	(102)	610	(185)
	1 回	20.8	326	(95)	264	(107)	589	(194)
	なし	34.2	317	(103)	259	(114)	577	(210)
TOEIC® L&R 受験目的	就職活動のため	28.0	353	(91)	286	(105)	639	(187)
	英語学習のため	24.3	337	(97)	276	(108)	613	(197)
	卒業に必要なため	25.8	324	(105)	262	(116)	587	(214)
	英語学習プログラムの結果を測るため	10.1	325	(102)	261	(110)	586	(205)
	昇進・昇格のため	11.8	320	(94)	260	(101)	580	(187)

*SD=標準偏差

年齢

どの国・地域でも TOEIC® L&R 受験者の年齢別割合は「21～25 歳」が最も高く（43%）、「20 歳以下」が 23%、「26～30 歳」が 15%、「31 歳以上」が 20%となっています。

「20 歳以下」の割合が最も高いのは、パナマ（98%）です。

「21～25 歳」の割合が最も高いのは、モロッコ（78%）、「26～30 歳」の割合が最も高いのは、ミャンマー（40%）となっています。

図 2 は、TOEIC® L&R の年齢別平均スコアを表しています。

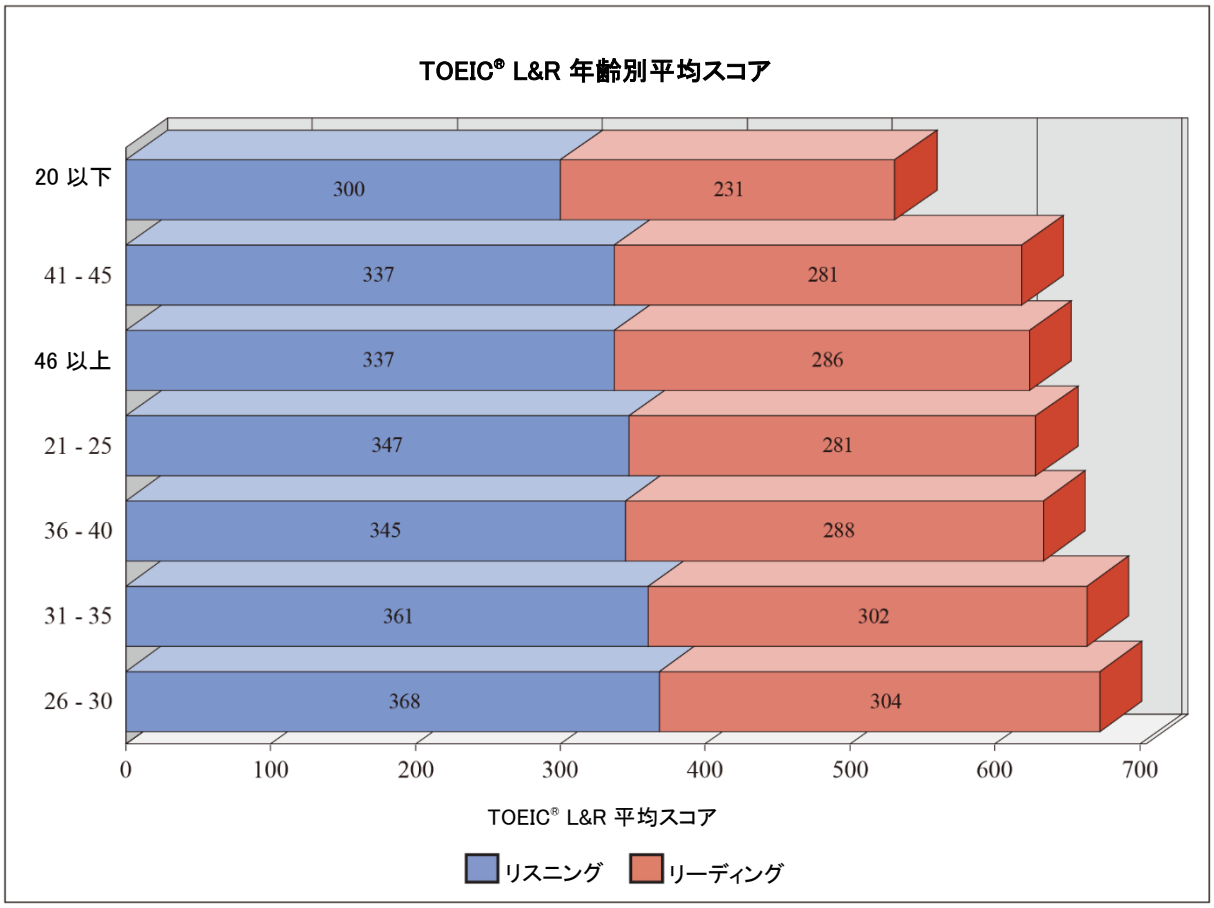

図 2：TOEIC® L&R 年齢別平均スコア

性別

全体で見ると、TOEIC® L&R の受験者は男性（50%）と女性（50%）がほぼ同じ割合となっています（本資料 7 ページ「表 2」参照）。

国・地域別で見ると、女性よりも男性の割合が高いのは、チリ（71%）とベナン（64%）です。一方、男性よりも女性の割合が高い国・地域も存在します。

男性よりも女性の割合が高いのは、コスタリカ（67%）、アルバニア（66%）などでした。

図 3 は、リスニングとリーディングの両方において男性より女性の平均スコアの方が高くなっていることを示しています。

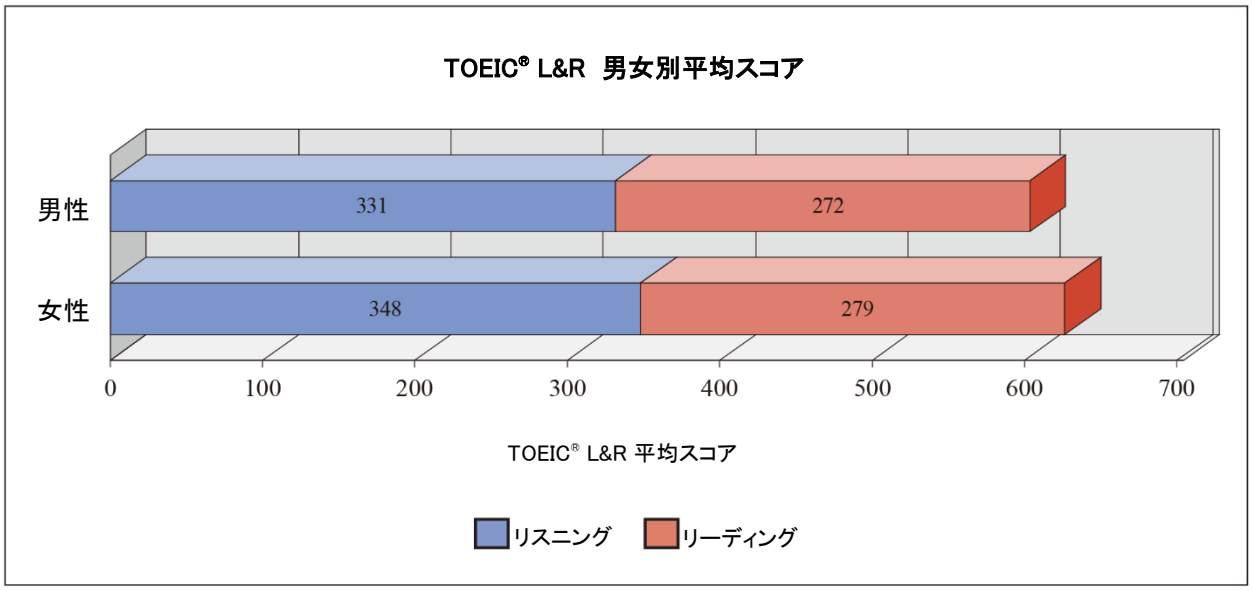

図 3：TOEIC® L&R 男女別平均スコア

学歴

受験者の半数以上（56%）は、バックグラウンドアンケート回答時点の学歴が大学卒（学士取得）または大学在学中でした。男性（54%）よりも女性（58%）の方が大学卒または大学在学中の割合が高くなっています。一方、大学院卒または大学院在学中の割合については、女性（10%）よりも男性（14%）の方が高い結果となりました。

国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に比較することはできません。

フィリピン（84%）、韓国（77%）、タイ（76%）においては、大学卒または大学在学中の受験者の割合が高いことがわかります。これに対し、モロッコ（73%）、アルジェリア（72%）、ベナン（70%）では、大学院卒または大学院在学中の受験者の割合が最も高くなりました。チリ（26%）では専門学校卒（高校卒業後取得）の割合が最も高くなりました。

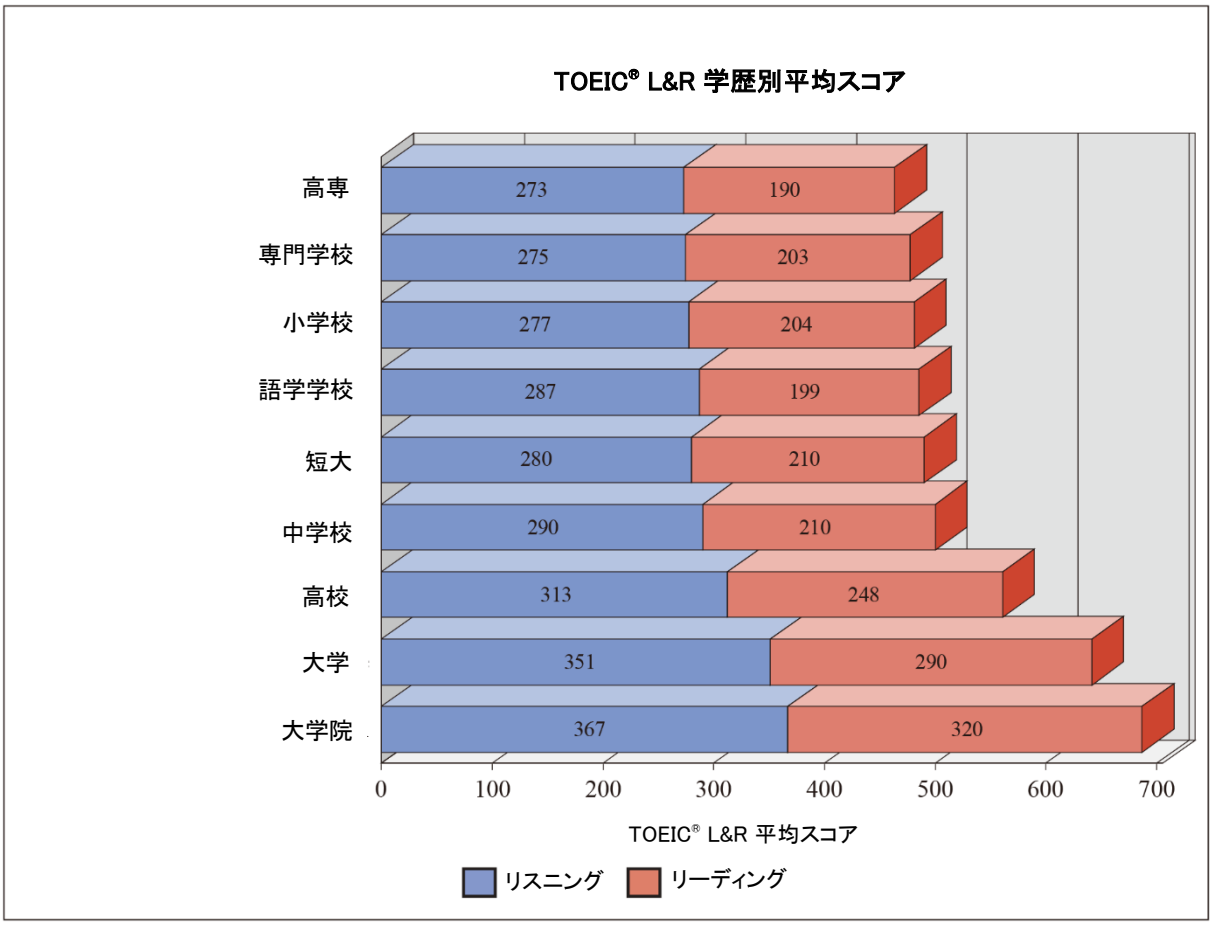

図 4：TOEIC® L&R 学歴別平均スコア

専攻科目

受験者の専攻科目で最も多いのは「工学」（23%）でした。「工学」専攻の受験者が特に多いのは、カメルーン（62%）とチュニジア（50%）です。2番目に多い専攻科目は「教養学」（19%）、3番目に多いのは「経営学」（16%）でした。「教養学」専攻の受験者が最も多いのは、コスタリカ（50%）です。

「経営学」専攻の受験者が多いのは、インド（52%）、ペルー（49%）、イタリア（43%）などです。

各専攻科目が全体に占める割合を性別で比較すると、「教養学」専攻については男性（12%）よりも女性（27%）、「工学」専攻については女性（12%）よりも男性（34%）の方が高い結果となりました。

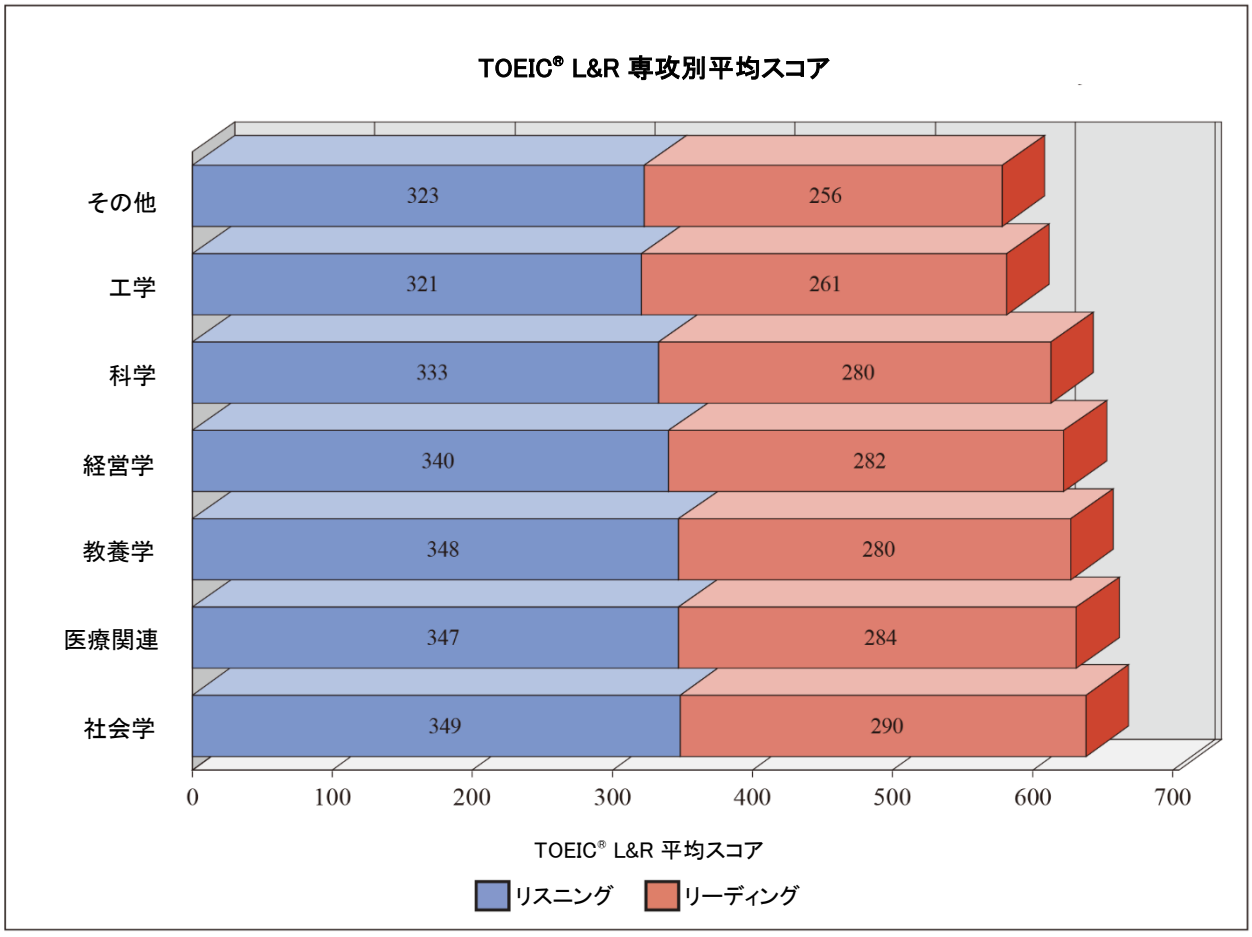

図 5：TOEIC® L&R 専攻別平均スコア

就業状況

全体で見ると、TOEIC® L&R 受験者の大半が「全日制学生」（58%）でした。「全日制学生」の割合が特に高かったのは、パナマ（92%）、フィリピン（85%）、ベルギー（84%）、カメルーン（82%）です。

また、受験者の 30%は「フルタイム勤務者」でした。

「フルタイム勤務者」の割合が特に高いのは、中国（71%）、ペルー（63%）、モンゴル（60%）です。

それぞれが占める割合を性別ごとに比較すると、「フルタイム勤務者」については女性（25%）よりも男性（35%）、「全日制学生」については男性（55%）よりも女性（60%）の方が高くなっています。

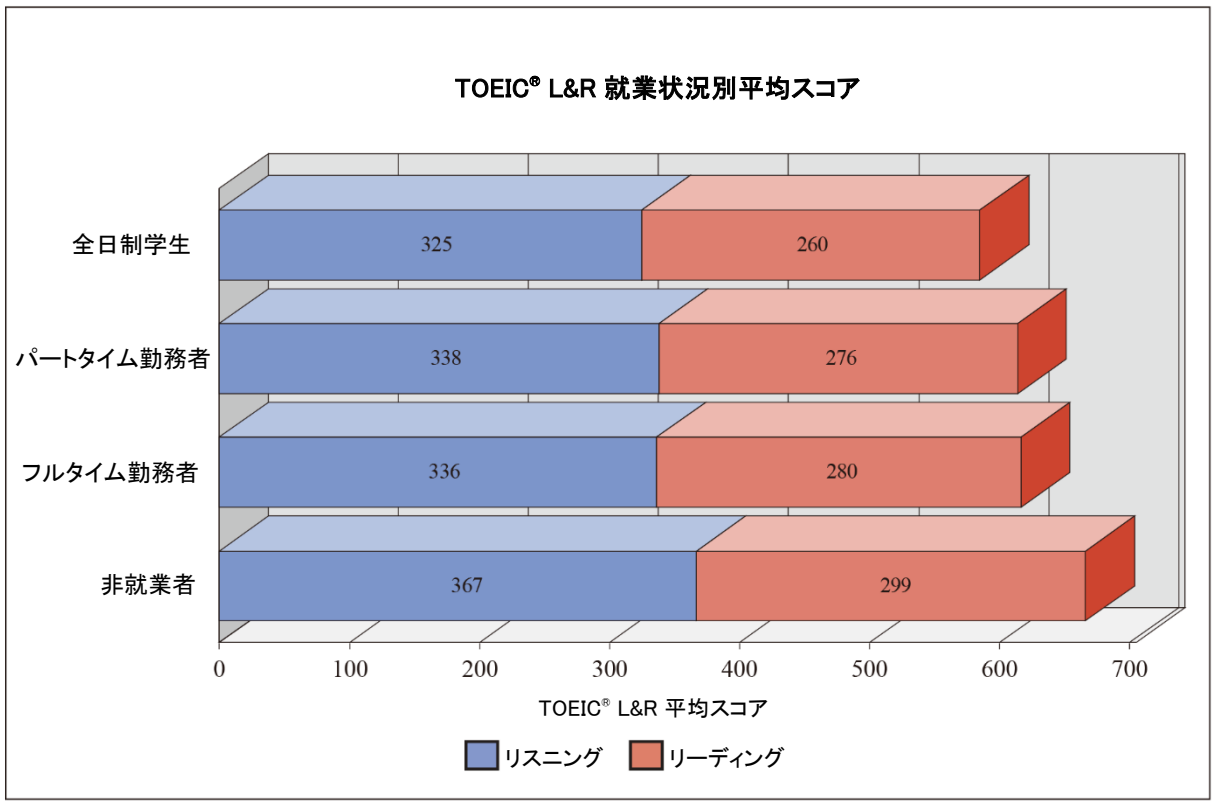

図 6：TOEIC® L&R 就業状況別平均スコア

業種

本資料 8〜9 ページ「表 2」に見られるように、ほとんどのフルタイム勤務者は「製造業」または「サービス業」に従事しています。

図 7a（サービス業）、図 7b（製造業）、図 7c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC® L&R の平均スコアを業種別に示したものです。

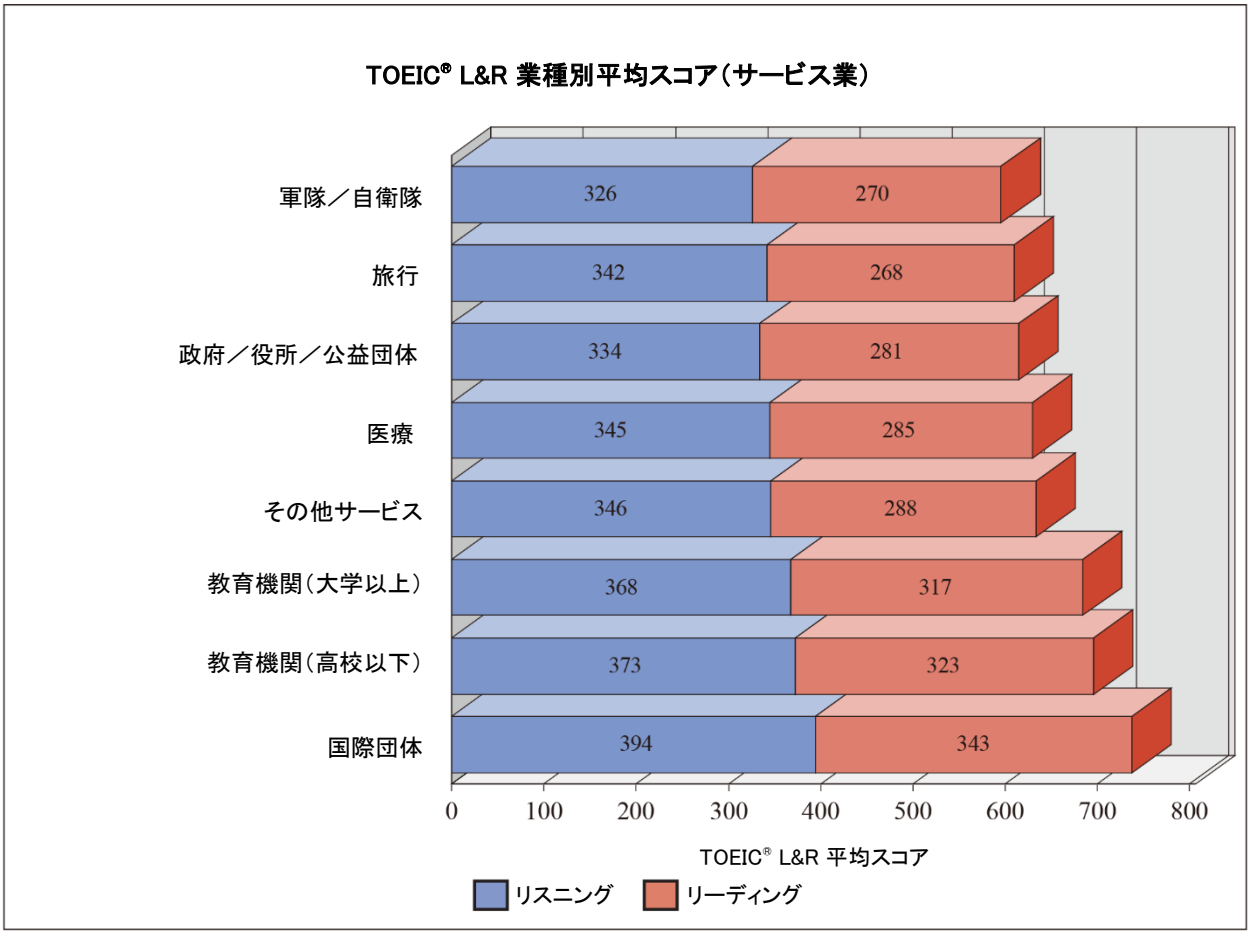

図 7a：TOEIC® L&R 業種別平均スコア（サービス業）

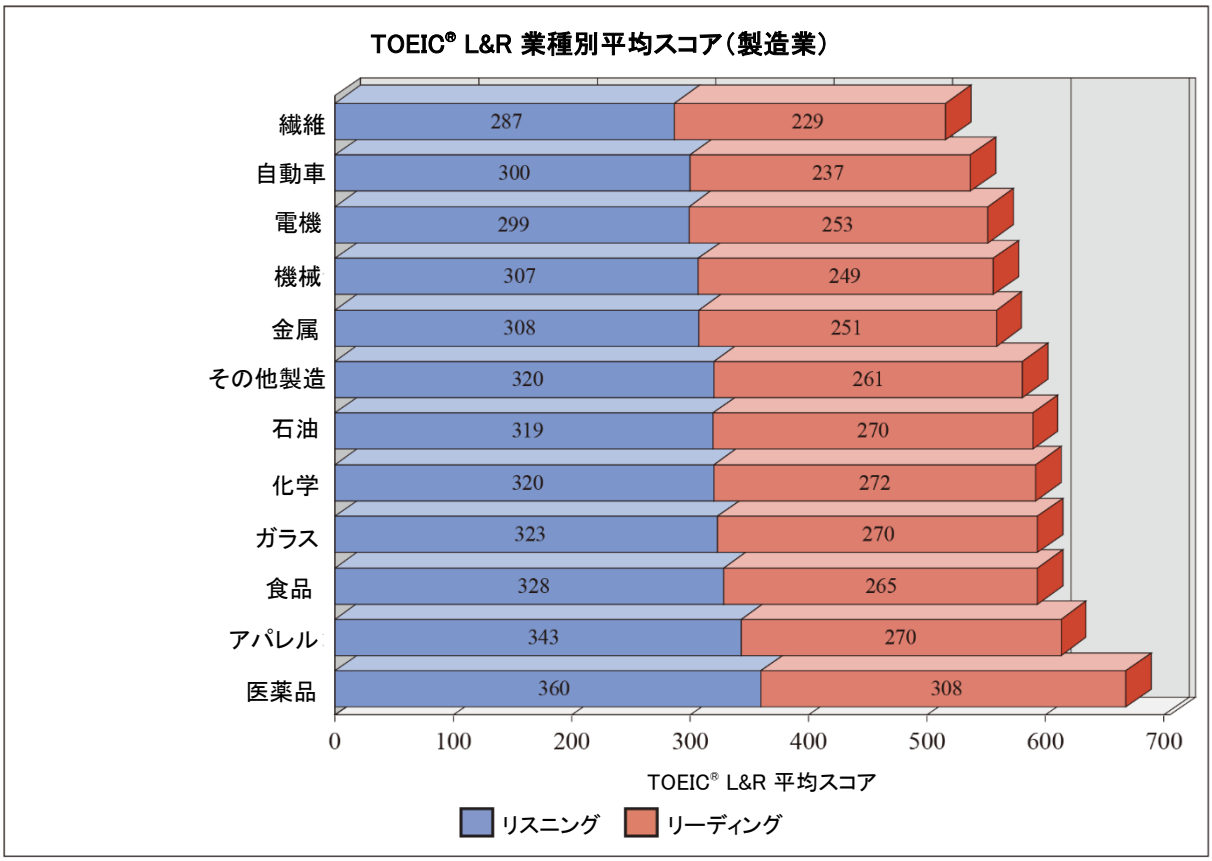

図 7b：TOEIC® L&R 業種別平均スコア（製造業）

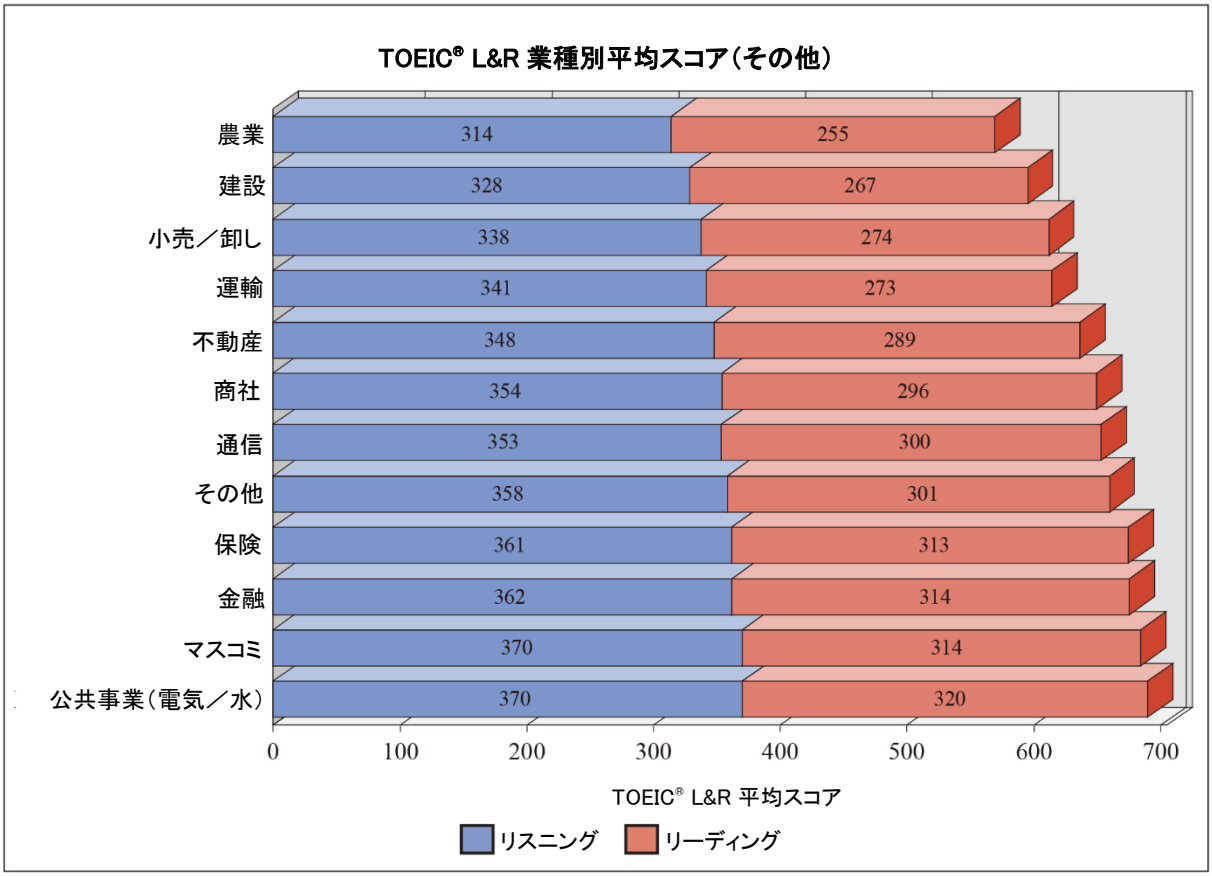

図 7c：TOEIC® L&R 業種別平均スコア（その他）

職種

受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。全体で見ると、最も多いのは「科学／技術職」（23%）でした。

レバノン（39%）とセネガル（36%）では「科学／技術職」の受験者が特に高い割合を占め、ベトナム（21%）では「管理職」の割合が最も高くなりました。

「教師／講師」の割合が特に高いのは、コスタリカ（61%）とパナマ（53%）です。

各職種が全体に占める割合を性別で比較すると、「教師／講師」については男性（4%）よりも女性（9%）、「事務職」についても男性（11%）よりも女性（24%）の方が高くなっています。
「科学／技術職」については女性（12%）よりも男性（31%）の方が高い結果となりました。

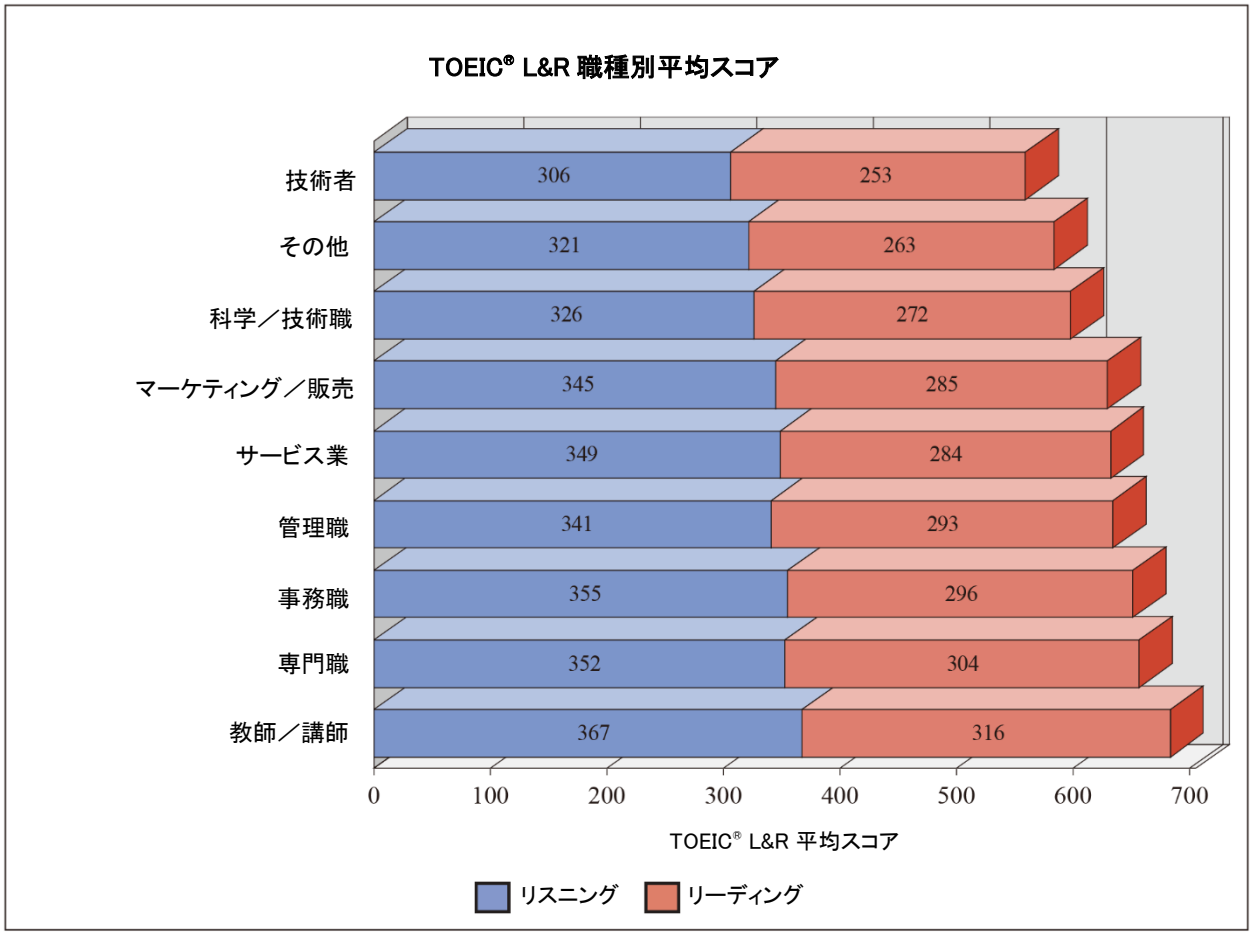

図 8：TOEIC® L&R 職種別平均スコア

英語学習期間

英語学習期間に関する受験者の回答は、2025 年も前年以前とほぼ同様の傾向を示しています。2025 年の受験者全体の 75%は、「6 年超」の英語学習期間があると答えています。

パナマ（82%）とエルサルバドル（79%）では、英語学習期間が「4 年以下」の受験者が特に高い割合を占めています。

一方、香港（71%）、インドおよびマレーシア（いずれも 70%）、韓国（67%）などでは、英語学習期間が「10 年超」の受験者の割合が高くなっています。

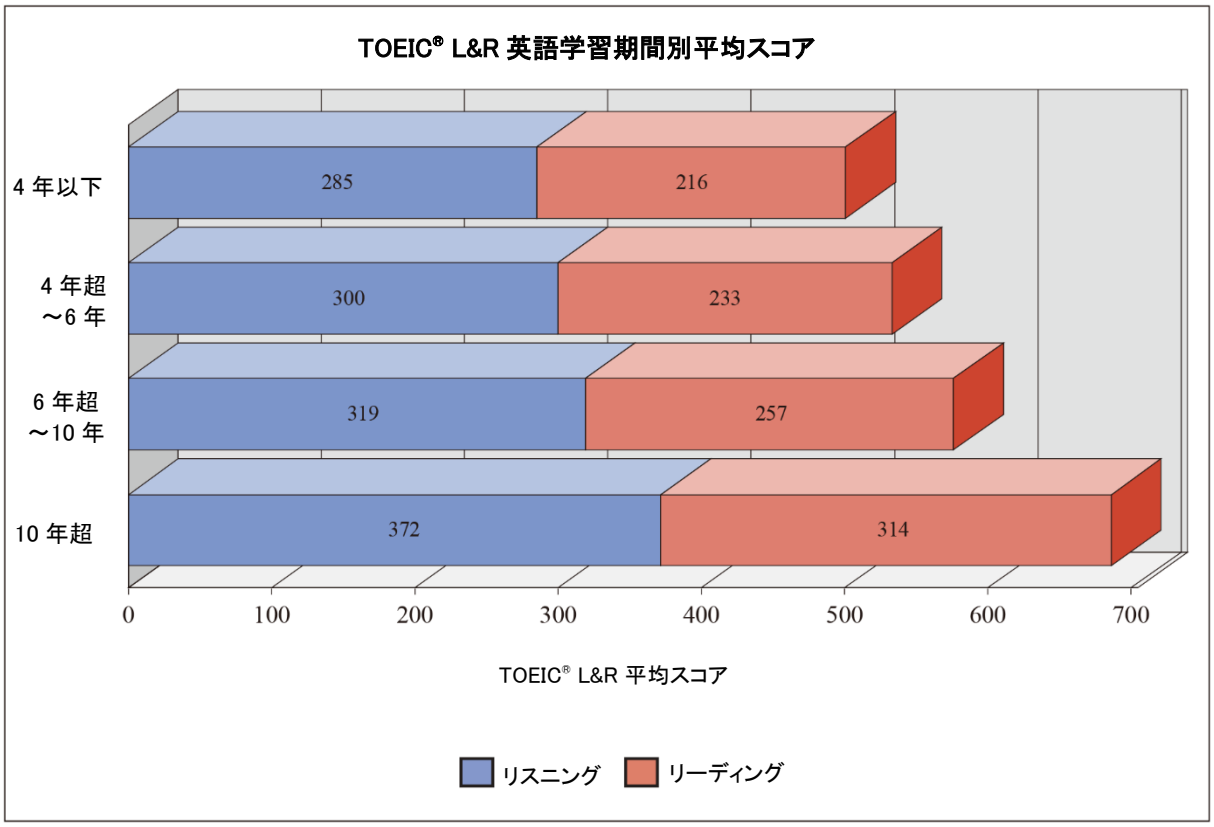

図 9：TOEIC® L&R 英語学習期間別平均スコア

英語学習の際に最も重要視する言語技能

英語学習期間についての質問の後に、最も重要視する英語の技能について尋ねました。全体の 22%は、英語の 4 技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重要視すると回答し、同じく 22%の受験者は「リスニング&スピーキング」を最も重要視すると回答しました。

パナマ（72%）、エルサルバドル（64%）、レバノン（60%）では、4 技能すべてを重要視するという回答が高い割合を占めています。

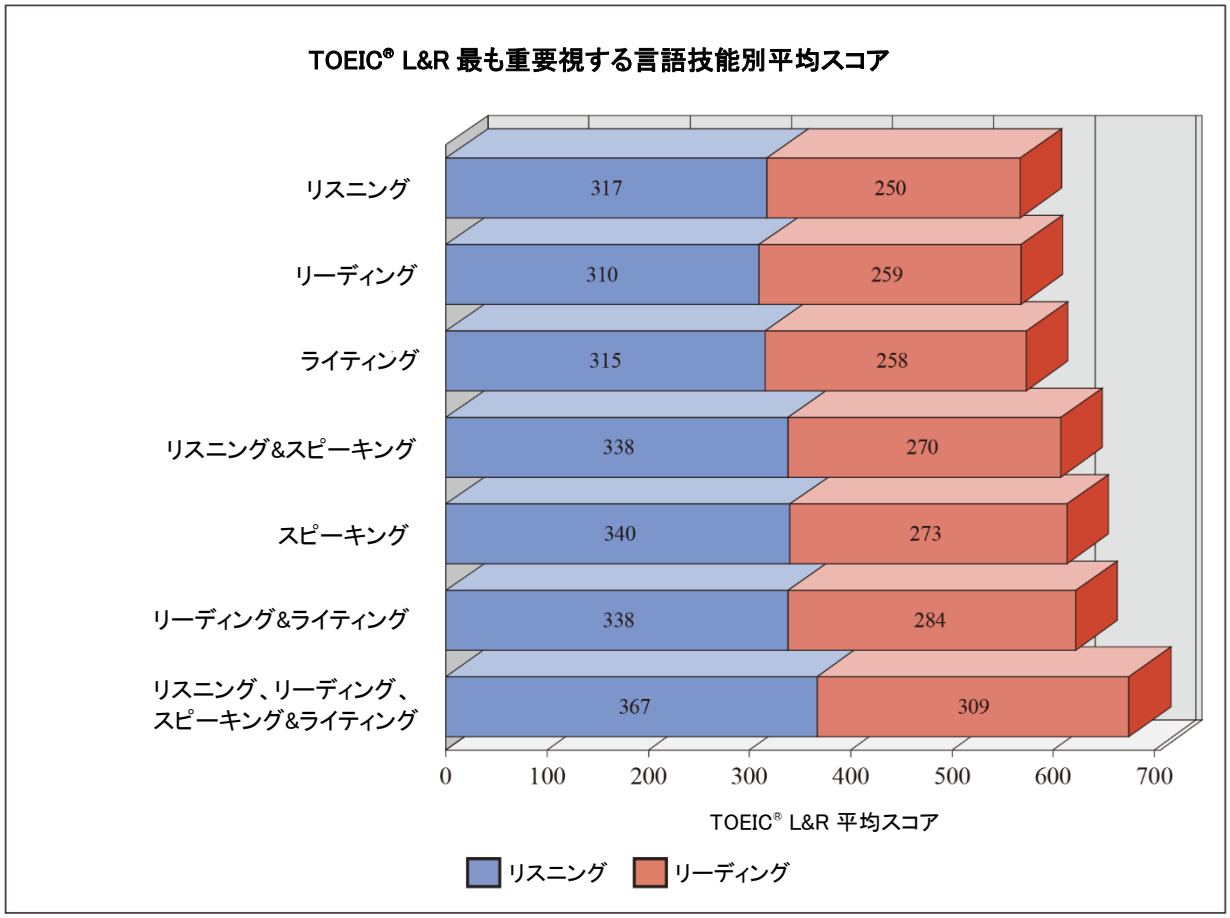

図 10：TOEIC® L&R 最も重要視する言語技能別平均スコア

日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の40%が「1～10%」と回答しました。この回答は、日本（45%）、中国（43%）、台湾（42%）、韓国（39%）で特に多く挙げられています。

パナマ（62%）では「11～20%」、インド（49%）では「51～100%」の割合で日常的に英語を使用するとの回答が多く見られました。

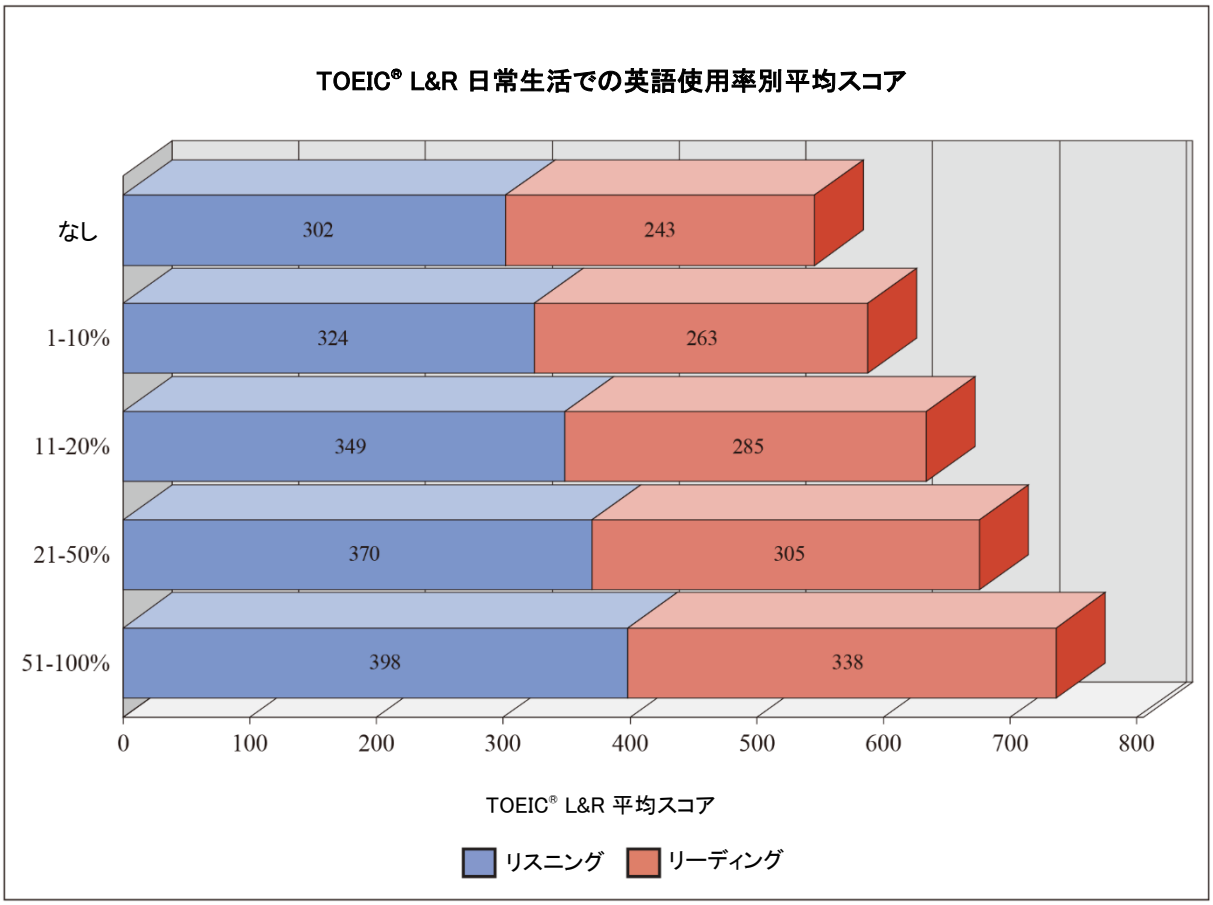

図 11：TOEIC® L&R 日常生活での英語使用率別平均スコア

最も使用する言語技能

受験者全体の 32%は、最も使用する英語技能として「リーディング」を挙げています。この回答は、台湾（41%）、中国（40%）、チリ（38%）、ペルー（37%）、日本（36%）で特に多く挙げられています。最も使用する英語技能として「リスニング」を挙げた受験者は全体の 21%を占め、国・地域別では、アルバニア（40%）、ガボン（37%）、レユニオンおよびフランス（いずれも 36%）などでその割合が高くなりました。

4 技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を同じくらい使用しているという回答の割合は、全体の 10%にとどまっています。

各回答が全体に占める割合を性別で比較すると、女性より男性の方に「リーディング」を最も使用する英語技能に挙げる傾向が強く見られました（男性 35%、女性 28%）。

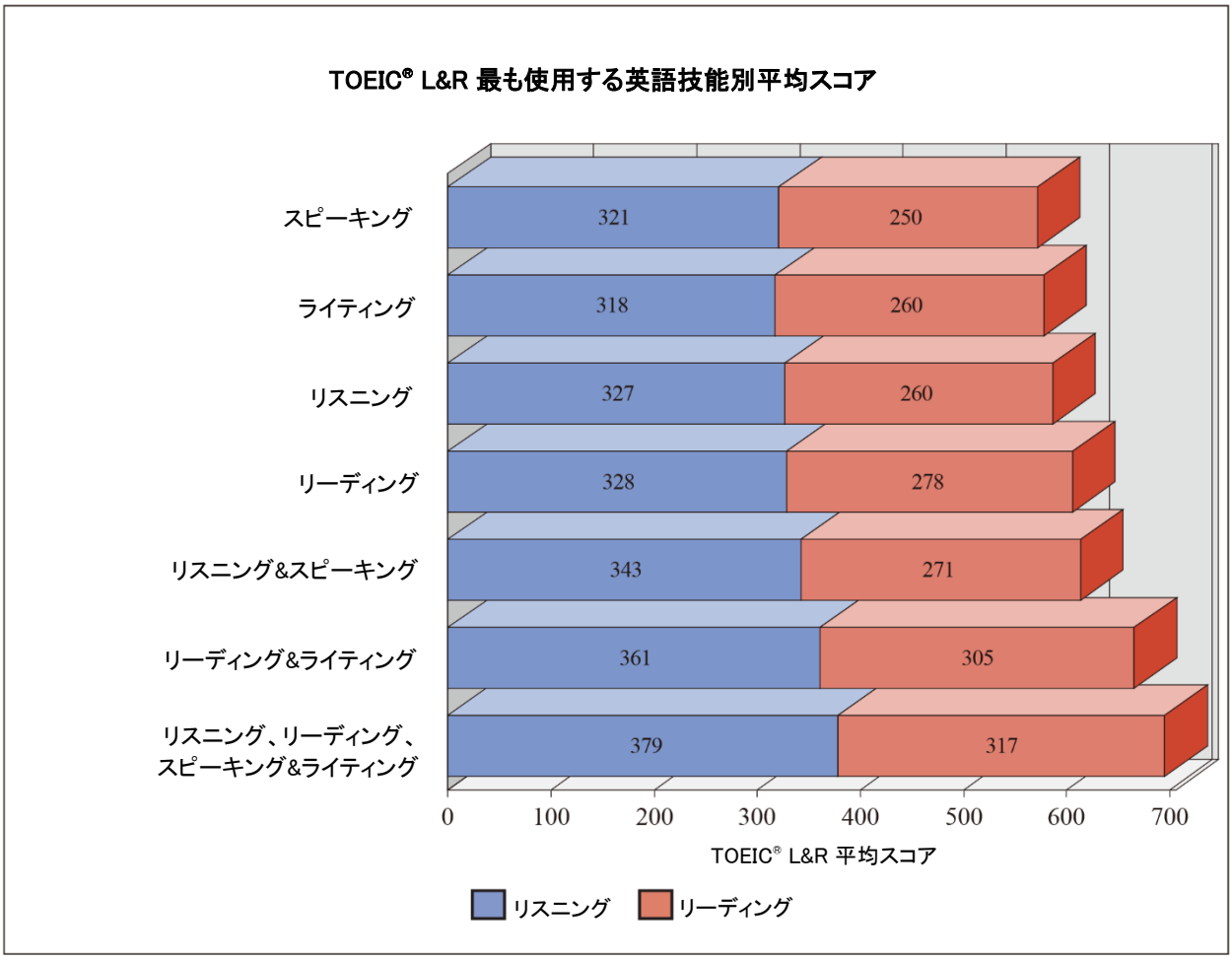

図 12：TOEIC® L&R 最も使用する英語技能別平均スコア

英語でのコミュニケーションに苦労する頻度

「英語でのやりとりに苦労する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の 37%が「時々」、22%が「あまりない」、18%が「頻繁にある」と答えました。

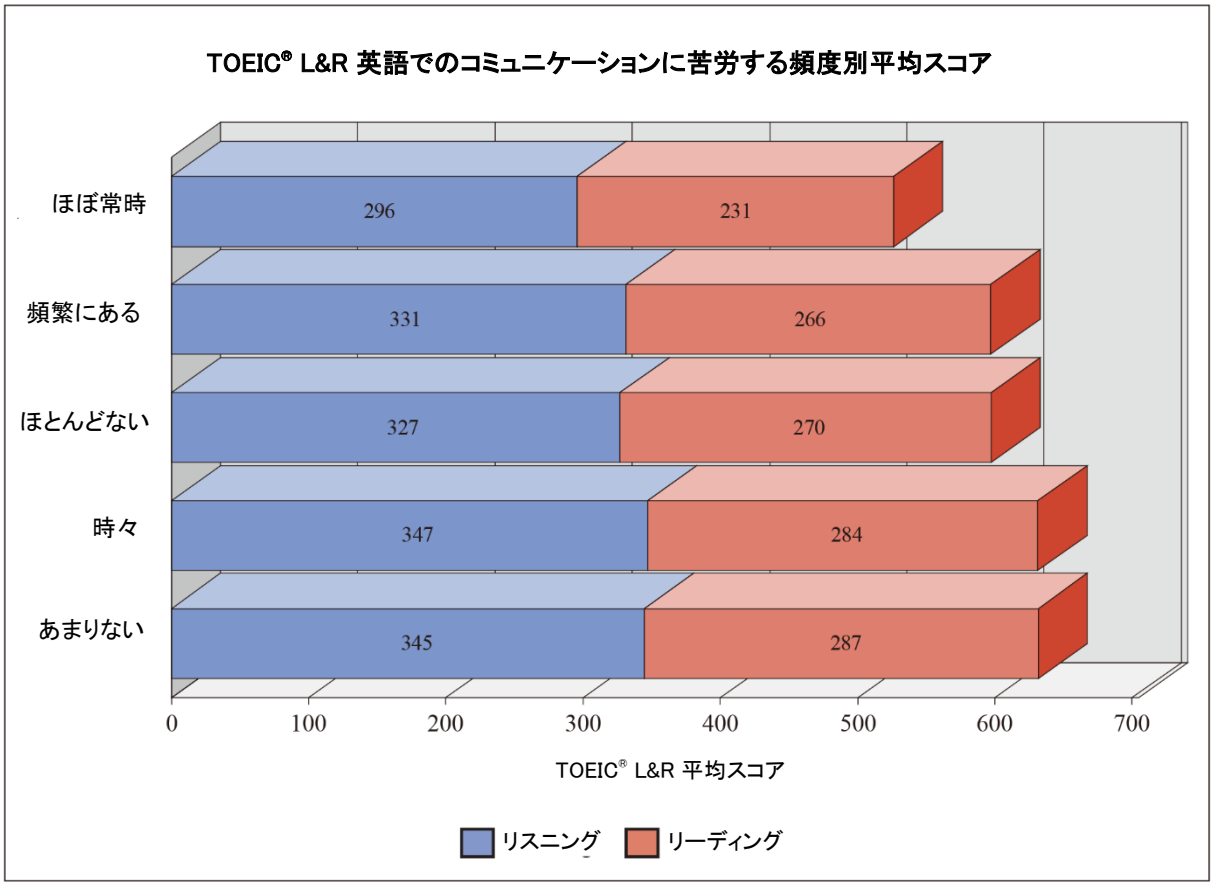

図 13：TOEIC® L&R 英語でのコミュニケーションに苦労する頻度別平均スコア

英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国・地域に滞在したことがありますか」という質問に対しては、6 ヵ月以上の滞在経験があると回答した受験者は全体の 10%にとどまりました。

英語圏に滞在した経験がまったくないと回答した受験者は 70%にのぼりました。

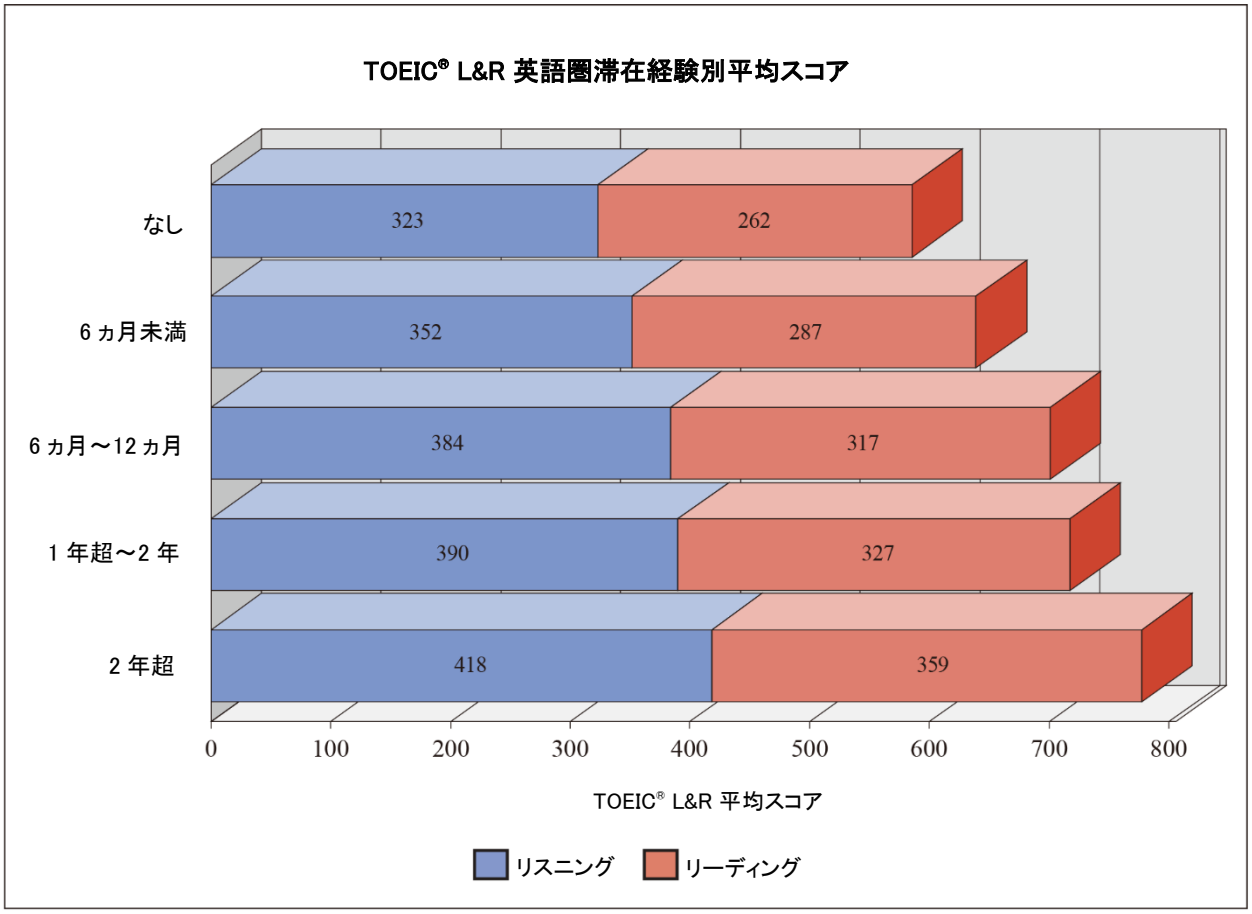

図 14：TOEIC® L&R 英語圏滞在経験別平均スコア

英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、受験者の 29%が「旅行のため」、28%が「英語学習プログラム参加のため」と回答しています。

各回答の割合を性別で比較すると、「英語学習プログラム参加のため」については男性（21%）よりも女性（34%）、「仕事のため」については女性（8%）よりも男性（20%）の方が高い結果となりました。

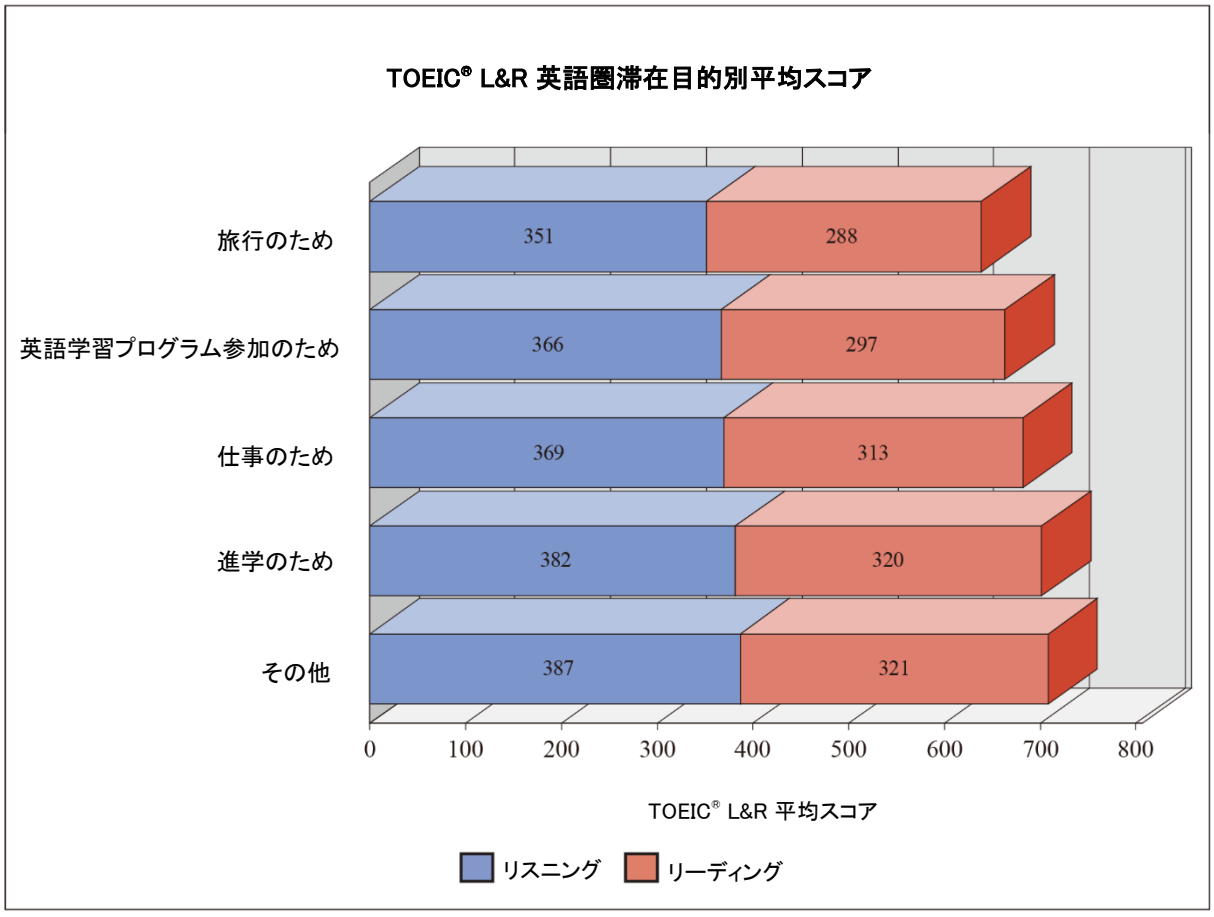

図 15：TOEIC® L&R 英語圏滞在目的別平均スコア

TOEIC® L&R の受験経験

過去に TOEIC® L&R を受験したことのある受験者の割合は、国・地域によって大きく異なります。受験経験者の割合が低いのはドイツ（10%）とベルギー（14%）、高いのは日本（73%）と韓国（72%）でした。

受験者の大半（66%）は、過去に TOEIC® L&R を受けたことがあると回答し、受験回数「3 回以上」が最も高い割合（33%）を占めています。

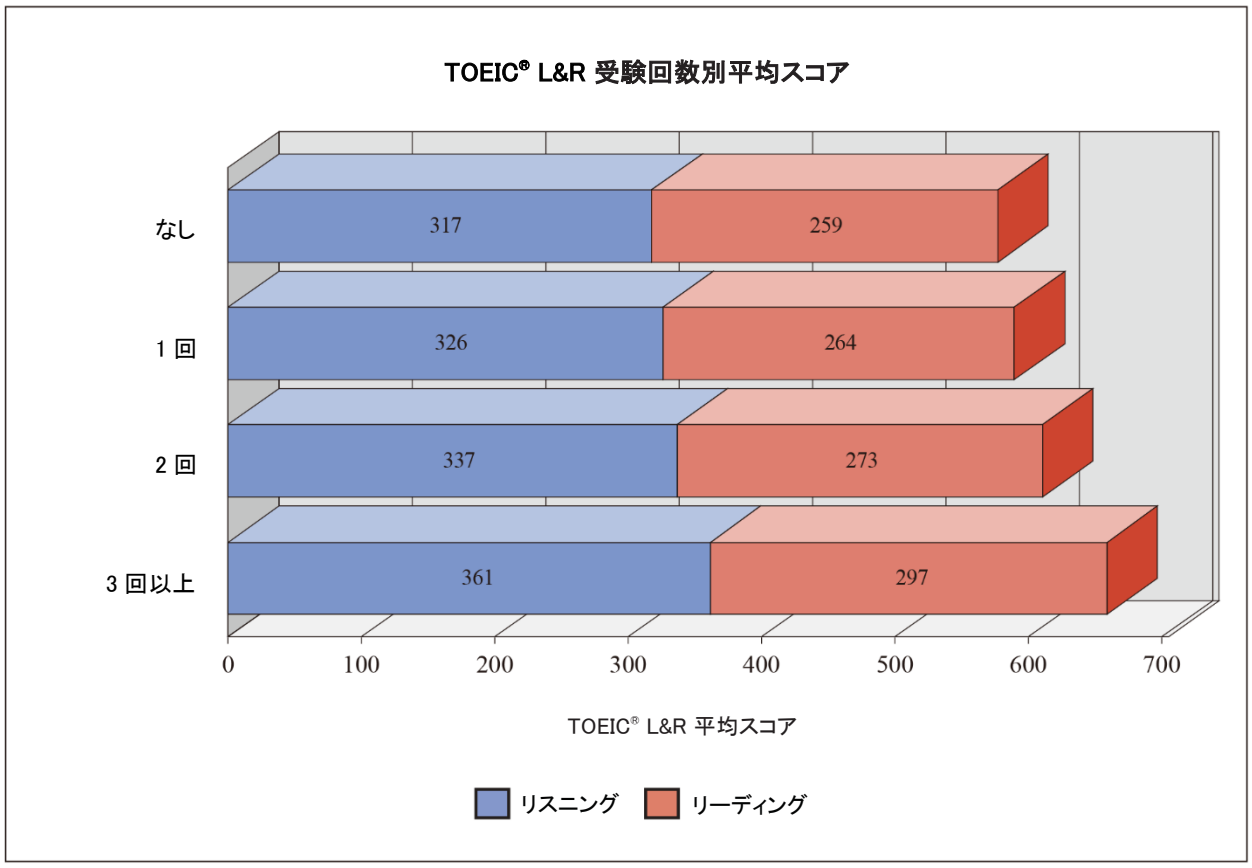

図 16：TOEIC® L&R 受験回数別平均スコア

TOEIC® L&R の受験目的

TOEIC® L&R の受験目的として最も多く挙げられたのは、「就職活動のため」（28%）で、これに「卒業に必要なため」（26%）と「英語学習のため」（24%）が続きます。

モンゴル（61%）、コスタリカ（58%）、スペイン（51%）、タイ（49%）、韓国（41%）では「就職活動のため」という回答が多く見られました。

「英語学習のため」という回答が特に多かったのは、ミャンマー（45%）、香港（36%）、日本（29%）です。

「卒業に必要なため」という回答が特に多いのは、ベルギー（88%）、カメルーン（85%）、ベナン（82%）、セネガルおよびモロッコ（いずれも80%）でした。

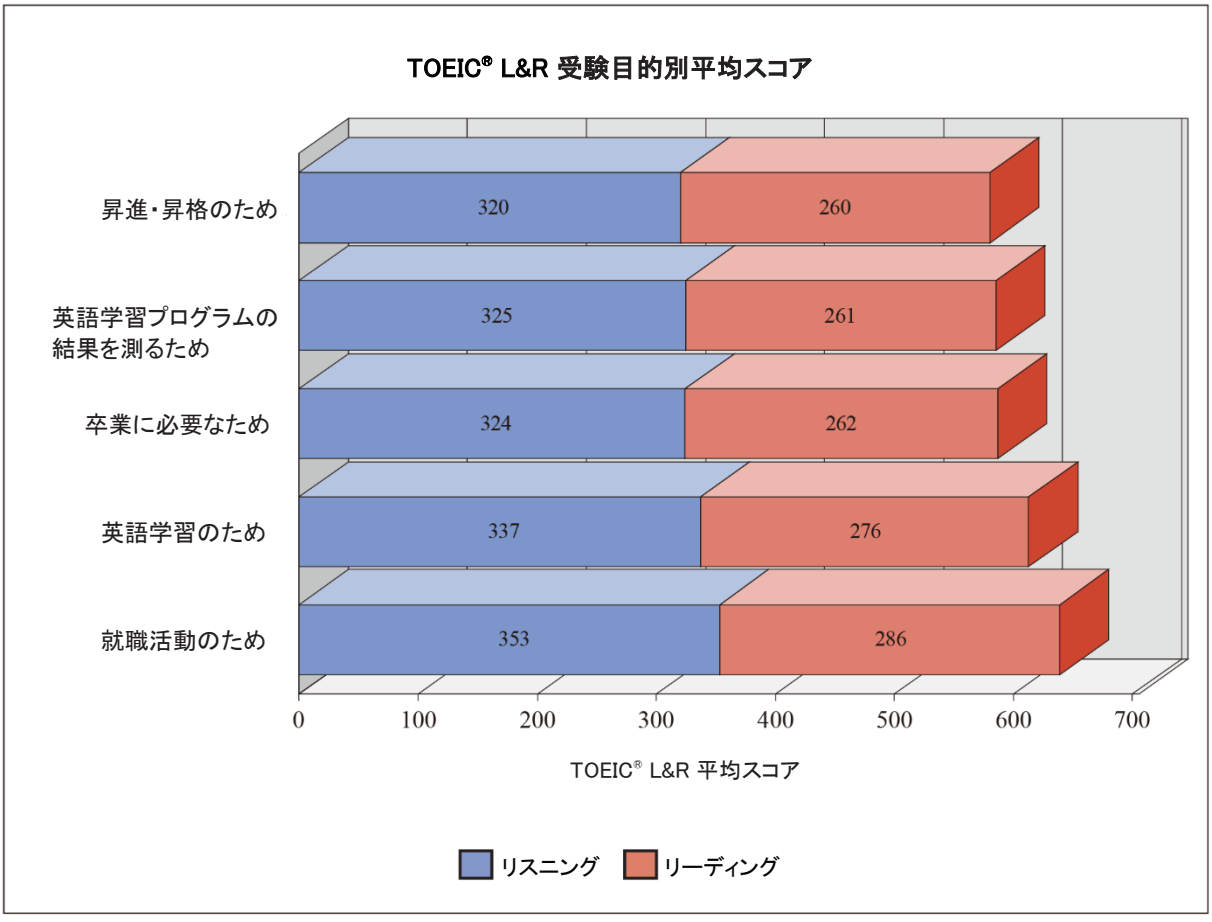

図 17：TOEIC® L&R 受験目的別平均スコア

資料 A

toeic バックグラウンドアンケート

以下の質問と選択肢を読み、最も当てはまるものを選んでください。各質問に対し、回答は 1 つのみです。

セクション I.
学歴／職歴

1. 現在在学中の学校または最終学歴を選んでください。
   A. 小学校
   B. 中学校
   C. 大学進学向け高校またはそれと同等のレベル（高校）
   D. 専門学校／高専
   E. 専門学校／高専（高校卒業後）
   F. コミュニティカレッジ／短大（短期大学士）
   G. 大学（学士号）
   H. 大学院（修士号または博士号）
   I. 語学学校

2. 現在専攻している、または最終学歴で専攻した科目を選んでください。
   （カッコ内記載の科目は例）
   A. 教養学（教育、美術、言語、文学、音楽、心理学）
   B. 社会／法律（国際学、法律、政治、社会学）
   C. 会計／経営／経済
   D. 財務／マーケティング／貿易
   E. 科学（農業、コンピュータサイエンス、数学、物理、統計）
   F. 保健（医療、看護、薬品、公衆衛生）
   G. 工学／建築
   H. その他／なし

3. 次の就業状況で最も近いものはどれですか。
   A. フルタイム勤務者（個人事業主を含む）
   B. パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生
   C. 無職（質問 6 へ）
   D. 全日制学生（質問 6 へ）

Copyright © 2025 by ETS.All rights reserved.ETS, the ETS logo, and TOEIC are registered trademarks of ETS.

4. 現在就職中の方にお尋ねします。あなたの雇用主の事業は、次のどれが最も近いですか。
   01. 農業／漁業／林業／鉱業
   02. 建築／ビル設計
   03. 製造 - 食品
   04. 製造 - 薬品
   05. 製造 - 化学
   06. 製造 - 繊維／紙
   07. 製造 - 石油／原油／ゴム
   08. 製造 - 鋼鉄／その他金属
   09. 製造 - 機械／精密機械
   10. 製造 - 電機
   11. 製造 - 自動車（あらゆる輸送手段を含む）
   12. 製造 - セメント／ガラス
   13. 製造 - 衣服
   14. 製造 - その他
   15. サービス - 教育（高校レベル以下）
   16. サービス - 教育（短大・カレッジ以上、評価、研究）
   17. サービス - 裁判／法規／地方／県
   18. サービス - 外務
   19. サービス - 軍隊／自衛隊
   20. サービス - 保健／病院／医療研究
   21. サービス - ホテル／娯楽／レストラン／旅行
   22. サービス - その他
   23. 公共事業（電気／水）
   24. 放送／マスメディア
   25. 通信
   26. 小売／卸売
   27. 商社
   28. 会計／銀行／財務／セキュリティ
   29. 保険
   30. 不動産
   31. 運輸
   32. その他

5. 現在就職中の方にお尋ねします。次の職種で最も近いものはどれですか。
   （カッコ内記載の職種は例）
   A. 管理職（役員、経営者、取締役）
   B. 科学／技術専門職（エンジニア、数学者、プログラマー、研究者、科学者）
   C. 教師／講師
   D. 専門職（会計士、ブローカー、財務専門家、弁護士）

資料 A（続き）

toeic

バックグラウンドアンケート - ページ 2

E. 作業技師（大工、電気技師、設備操作員、配管工）
F. マーケティング／販売（為替仲買人、マーケティングアナリスト、不動産代理人、販売代理人、旅行代理人）
G. 事務／総務職（オフィススタッフ、受付員、秘書）
H. サービス（カスタマーサービス担当、人事担当、ホテルスタッフ、広告・宣伝）
I. その他

セクション II.

英語学習期間

6. 何年間、英語を学習していますか。
   A. 4 年以下
   B. 4 年超～6 年
   C. 6 年超～10 年
   D. 10 年超

7. 次のうち、最も重要視する／していた英語の技能はどれですか。
   A. リスニング
   B. リーディング
   C. スピーキング
   D. ライティング
   E. リスニング&スピーキング
   F. リーディング&ライティング
   G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング

8. 日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか。
   A. なし
   B. 1～10%
   C. 11～20%
   D. 21～50%
   E. 51～100%

9. 次の英語技能のうち、最もよく使用するものはどれですか。
   A. リスニング
   B. リーディング
   C. スピーキング
   D. ライティング
   E. リスニング&スピーキング
   F. リーディング&ライティング
   G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング

10. 英語でのやりとりに苦労する頻度はどのくらいですか。
    A. ほとんどない
    B. あまりない
    C. 時々
    D. 頻繁にある
    E. ほぼ常時

11. 英語を主言語とする国・地域に滞在したことがありますか。
    A. なし（質問 13 へ）
    B. 6 ヵ月未満
    C. 6 ヵ月～12 ヵ月
    D. 1 年超～2 年
    E. 2 年超～

12. 英語圏に滞在した主な目的は何でしたか。
    A. 進学のため（英語学習プログラム以外）
    B. 英語学習プログラム参加のため
    C. 旅行のため（仕事に無関係）
    D. 仕事のため
    E. その他

セクション III.

TOEIC® L&R 受験経験

13. 今回の受験前に、何回 TOEIC® L&R を受験しましたか。
    A. なし
    B. 1 回
    C. 2 回
    D. 3 回以上

14. 今回の TOEIC® L&R の主な受験目的は何ですか。
    A. 就職活動のため
    B. 昇進・昇格のため
    C. 英語学習プログラムの結果を測るため
    D. 将来の学習ニーズを知るため
    E. 学習中のコース卒業のため

資料 B

各設問の回答率

	回答数	回答率
バックグラウンドアンケートの対象者総数	3,024,969	
学歴	2,259,879	75%
専攻科目	2,065,418	68%
就業状況	2,236,349	74%
業種	709,925	90%
職種	622,708	79%
英語学習期間	1,912,350	63%
最も重要視する言語技能	1,896,343	63%
日常生活での英語使用率	1,897,619	63%
最も使用する英語技能	1,865,855	62%
英語でのコミュニケーションに苦労する頻度	1,871,479	62%
英語圏滞在期間	1,863,971	62%
英語圏滞在目的	546,152	98%
TOEIC® L&R 受験回数	2,070,646	68%
TOEIC® L&R 受験目的	1,922,557	64%

***注**：業種と職種に関する設問 4 および 5 については、就業状況に関する設問 3 で「フルタイム勤務者（個人事業主を含む）」または「パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生」と回答した 793,070 名を対象として回答率を計算しています。英語圏滞在目的に関する設問 12 については、英語圏滞在期間に関する設問 11 で「なし」以外の回答を選択した 560,126 名を対象として回答率を計算しています。

資料 C

地域別リスニングおよびリーディングスコアの相関値

地域	相関値
アフリカ	0.88
アジア	0.85
ヨーロッパ	0.90
北米	0.90
南米	0.90

Listening &
Reading Test

847851

Copyright © 2026 by ETS.ETS and TOEIC are registered trademarks of
ETS.The Eight-Point logo is a trademark of ETS.CR-00164

toeic®